

私は、昨年の岩手コースに続き、今回、福島県会津コースに参加する機会を得た。今回の会津コースのテーマとしては「風評被害からの経済回復について」が大きかった。福島第1原発からも遠く、放射線量も健康にはまったく影響の無いレベルであるにも関わらず、農家の売上げは、震災前までの回復には未だ至っていないという。

食用米をとっても、全量検査により食物としての安全は国により保証がされている、個人的には、このような検査を他の食品にも出来る限り徹底するしか他に手立ては無いと考えている。要は、日本人の「科学」に対する本質的知見が問われている。

福島県への観光客も、修学旅行でさえ、震災前と比して未だ4割程度にしか回復していないという。今回の私たちのように訪問し、「被災地を忘れない」ことが有り難い、とのことであった。

最後に、立命館の全校友の皆さんに呼び掛けたい。

「福島は食が豊かで、まだまだ自然が残る素晴らしい土地。まずは、ぜひ一度訪問を」
(408文字)

【匿名希望】